

## 「構造工学論文集」最終原稿作成、シンポジウム等、留意事項

土木学会・構造工学論文集編集小委員会

1. 「構造工学論文集投稿要領」記載の要領、体裁に関する規則を厳守して下さい。手書き原稿ならびに紙媒体での提出は受け付けません。査読による掲載可の判定は原稿の内容のみに関するものであり、**最終原稿に形式不備があった場合には、その時点で返却する権利を当編集小委員会は持ちます。**
2. 提出する最終原稿は、投稿要領、原稿見本、最終原稿用のチェックシート（構造工学論文集編集小委員会のホームページ（<http://www.jsce.or.jp/committee/struct/journal/index.html>）から入手できます。）に従って通常の A4 サイズで作成頂き、その PDF ファイル（Word ファイルで作成した場合は、校正確認用に Word ファイルも提出）、修正意見に対する回答書（詳細は 5. を参照）、最終原稿用のチェックシートについて、ユーザ名とパスワードをご準備の上、以下の WEB より提出して下さい。**チェックシートとして、初回原稿用のものは使用しないで下さい。**

投稿・査読システム(Editorial Manager) : <https://www.editorialmanager.com/structcivil/default.aspx>

その際、**必ず、修正原稿の投稿**とし、新規原稿の投稿とはしないで下さい。（新規原稿の投稿の場合、修正回答書などのアップロードができません。）投稿前に、**執筆要領の下方に最終原稿の見本とともに示されている投稿方法（投稿・査読システムの操作方法）**を熟読して下さい。

- 1) 提出頂きました PDF ファイルはそのまま論文集（J-STAGE）に掲載されます。著者の責任で PDF ファイルには細心の注意を払って下さい。PDF ファイルの作成には、土木学会論文集における PDF ファイルの作成方法（<http://committees.jsce.or.jp/jjsce/ptebiki>）に従って下さい。カラーの図表を入れて頂くことも可能です。
  - 2) ファイルサイズが 5MB 以下に収まっているか、**①、I、崎などの環境依存文字**（<http://committees.jsce.or.jp/jjsce/ptebiki> を参照して下さい。）が使用されていないか、**フォントが全て埋め込まれているか**、プリンタで印刷した際に文字化けや図表の画質に問題がないか等、ご確認下さい。
  - 3) 最終原稿には、絶対にページ番号は付けないで下さい。また、セキュリティーの設定は絶対に行わないで下さい。添付ファイルも付けないようにして下さい。これらの点は、必ずご確認下さい。
  - 4) 連絡著者、受理日は、フォーマットに従って適切な位置に記載して下さい。
  - 5) 英文タイトルおよび英文著者名の表記の仕方に誤りが大変多くなっています。最終原稿の見本を参考にして、必ずフォーマットを守るようにして下さい。特に、英文原稿の場合の行間の設定についてはよくご確認下さい。J-STAGE への掲載の関係上、必ず、ご確認下さい。
  - 6) PDF ファイルを提出する前に、PDF ファイルの質をご自身で十分にご確認下さい。
  - 7) 最終原稿には査読意見を適切に反映させて下さい。
  - 8) 最終原稿の他にチェックシートもご提出下さい。チェックシートにおけるチェック内容と原稿の実際に不整合がある場合は返却することがあります。
  - 9) 最終原稿をもって登載可となった場合は、校正業者から修正依頼が、適宜、1 月下旬以降にありますので、[@letterpress.co.jp](mailto:@letterpress.co.jp) のドメインからのメールが迷惑メールにならず、確実に受け取れるように事前にご準備下さい。
3. 登載料は下記の通りです。

ページ数（最大 14 ページ）に依らず 47,000 円

なお、登載料の請求書は連絡先宛に送付します。

4. 別刷は配布いたしません。
5. 修正原稿（最終原稿）の投稿ならびに修正報告の入力
  - 1) 著者用 WEB の画面に従って投稿して下さい。  
注記：題目、原稿区分の初回投稿時からの変更は、査読意見として指示されていない限り、また誤字脱字がない限り、原則として認めません。これらの理由により、やむを得ず変更する場合は委員長宛に、執筆要領に掲載してある所定の様式に従って、理由書を作成の上、構造工学論文集編集小委員会（メールアドレス：struct-eng@jsce.or.jp）までメールで、タイトルを題目変更届あるいは原稿区分変更届として、ご提出下さい。なお、著者名（著者の順番を含む）の初回投稿時からの変更は認められませんので、ご注意下さい。
  - 2) 修正報告（新旧対照の報告。様式は任意ですが、**査読意見（修正意見）と修正内容を対で査読者1～3、編集小委員会からのコメントの順に示すとともに、新原稿における修正箇所を明示**して下さい。）を投稿・査読システム上にアップロードして頂きます。修正意見に対して適切な対応がされていない場合、登載否となることがありますのでご注意下さい。
  - 3) 投稿期限：2020年1月9日（木）23:59（日本標準時） 厳守  
締切後、ただちに論文集の製作に入りますので、必ず、上記の投稿期限までに、投稿を完了させて下さい。投稿期限に遅れた場合は、登載否・返却としますので、締切当日の17:00を目途に投稿を完了されることをお勧めします。
  - 4) 原則として、最終原稿の再投稿はご遠慮頂きたく、**最終原稿はよく推敲・確認した上で、一度だけ投稿**して下さい。やむを得ず、**再投稿を希望される場合のお申し出**（struct-eng@jsce.or.jp に、タイトルを再投稿希望として、必ず受付番号を記して下さい。）は、**2020年1月9日（木）17:00（日本標準時）まで**とさせていただきます。以降にお申し出があっても、再投稿は、一切、許可しません。
  - 5) 問い合わせ先：土木学会構造工学委員会構造工学論文集編集小委員会  
〒160-0004 東京都新宿区四谷1丁目 外濠公園内 担当 岡崎寛輝  
E-mail: struct-eng@jsce.or.jp
6. 登載された論文・報告・総説は第66回構造工学シンポジウムで必ず発表して頂きます。日程は以下の通りです。プログラムは、2020年2月末までに構造工学論文集編集小委員会のホームページ (<http://www.jsce.or.jp/committee/struct/journal/index.html>) に掲載される予定です。また、土木学会誌2020年3月号会告に開催案内を掲載する予定です。  
開催期日： 2020年4月18日（土）、19日（日）  
開催場所： 東京工業大学 大岡山キャンパス 西9号館
- 注）日本建築学会からも、本論文集の姉妹誌として建築部門を対象とした構造工学論文集 Vol.66B が刊行され、同日同会場（並行セッション）にてシンポジウムが開催されます。建築部門に関する詳細は建築雑誌（日本建築学会）の会告に掲載されます。
7. 構造工学論文集 Vol.66A からは、論文集（CD）は発刊せずに、J-STAGE にシンポジウム前にフリーで掲載することになりました。従いまして、論文集（CD）の販売は致しませんので、予めご了承下さい。